



真中便り

【校訓】 自主・自愛・自省

2026. 7. 22 7月号
厚岸町立真龍中学校
☎ 0153 (52) 3211
発行責任者 松永 達郎



欠席連絡用
QRコード

※電話連絡の場合は
8:10以降に！

8月の行事予定

多様性が認められる社会へ

校長 松永 達郎

近年、「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉を目にする機会が増えました。これは2015年9月、国連総会で全会一致により採択された、よりよい世界を目指すための国際的な目標です。貧困、紛争、気候変動、資源の枯渇など、地球規模の課題が深刻化する中、「誰ひとり取り残さない」を理念に、2030年を目標年として17のゴールが掲げられています。その達成には、国や企業だけでなく、私たち一人ひとりが課題を自分事として捉え、日常の中で行動していくことが強く求められています。

その中の一つが「ジェンダー平等の実現」です。ジェンダーとは社会的・文化的な性差を意味し、学校において象徴的に表れるものの一つが制服です。制服は明治時代に制度化され、男子は軍服を基にした詰襟、女子は良妻賢母の育成を背景とした和装から始まりました。その後、時代の変化とともにデザインは多様化し、近年では性別に関係なく選択できる制服が広がっています。こうした変化は、個々の価値観や生き方を尊重する社会への転換を象徴しているといえるでしょう。

真龍中学校でも、令和10年度新入生からの学校指定制服変更を検討しています。前述のとおり「ジェンダー平等の実現」はもとより、ご家庭の負担軽減や、暑さ対策も考えております。地域とともにある学校として、8月下旬に保護者や地域の方々（代表として学校運営協議会委員）へのアンケートを実施し、その意見を踏まえて導入の可否を判断します。9月末に結果を公表する予定です。ご案内が届きましたら、皆様のお考えをお聞かせください。

また、ジェンダー平等の実現には制服だけでなく、多様性への理解の深化や、多目的トイレの整備、更衣室の個室化といった環境面の充実も不可欠です。互いの違いを認め合い、安心して自分らしく過ごせる環境づくりが求められます。2030年まで残された時間は多くありませんが、本校は今後も一つひとつの取組を大切にし、多様性を尊重しながら、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会の実現を担う生徒の育成を目指していきます。

結びになりますが、明日から32日間の夏休みが始まります。暑さ対策を十分に行うとともに、ケガや事故に巻き込まれないよう有意義な夏休みをお過ごしください。

日	曜	行事予定	給食	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	バス
1	Sat			1							
2	Sun			2							
3	Mon			3							
4	Tue			4							
5	Wed			5							
6	Thu			6							
7	Fri			7							
8	Sat			8							
9	Sun			9							
10	Mon	学校閉庁日		10							
11	Tue	山の日		11							
12	Wed	学校閉庁日		12							
13	Thu	学校閉庁日		13							
14	Fri	学校閉庁日		14							
15	Sat			15							
16	Sun			16							
17	Mon			17							
18	Tue			18							
19	Wed			19							
20	Thu			20							
21	Fri			21							
22	Sat			22							
23	Sun			23							
24	Mon	2学期始業集会 前期専門委員会⑦	〇〇	24	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	14:25 15:35
25	Tue		〇〇	25	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	15:20 16:30
26	Wed		〇〇	26	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	15:20 16:30
27	Thu		〇〇	27	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	15:20 16:30
28	Fri	学力テスト	〇〇	28	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	15:20 16:30
29	Sat			29							
30	Sun			30							
31	Mon	全校集会⑤(表彰)	〇〇	31	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	15:20 16:30

2年生:『ウレシパ』な宿研

7月8日(水)、9日(木)の2日間、2年生が1泊2日の宿泊研修に行ってきました。集団で行動する際に気をつけることや、仲間のために今何をするべきかを主体的に考えながら行動する姿が見られました。ぜひ宿泊研修の活動を通して得た力を、日常の学校生活でもしっかり発揮してください。

また、この宿泊研修を最後に、2年生の三上夏輝さんが転校となりました。みんなと過ごしたこの時間を思い出に、新天地でも頑張ってください！



市中パレード開催！

7月3日(金)に市中パレードが開催され、本校も全校生徒が参加し、厚岸音頭を踊りました。昨年度は雨で中止でしたが、今年度は天候もよく、丁度いい気温の中で踊ることができました。たくさんのお客さんを目の前に、練習の成果を十分披露できたと思います。



参観日・懇談

7月14日(火)に2回目の授業参観及び学級懇談を実施しました。お忙しい中、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回は11月9日(月)を予定しています。

製氷機贈呈

公務員弘済会より、熱中症対策として簡易製氷機を贈呈いただきました。ありがとうございます。

トイレの改修工事について

トイレの改修工事が始まりました。生徒用のトイレについては8月末までに、教師用のトイレについては10月末までに改修される予定となっています。その間、工事車両が正面玄関の出口側から校地に侵入することがありますので、十分ご注意ください。

主な相談窓口（北海道） 中学生・中学部生・高校生・高等部生用①（令和8年4月）

名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター (24時間子供SOSダイヤル) (メール相談)	北海道教育委員会 (文部科学省)	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関する事など、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会		令和8年5月18日～ 令和9年3月29日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 5/1～5/12毎日17:00～22:00 8/6～9/16毎日17:00～22:00 1/7～2/1毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 (厚生労働省)	189 (いちはやく)	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 (厚生労働省)		平日9:00～17:00 (12/29～1/3除く)	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 (12/29～1/3除く)	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

明日から8月23日(日)まで夏休みとなります。学習も大切ですが、こうした長期休みを利用しご家庭で計画を立て、学校では得難い貴重な経験も積んでほしいと考えております。また、生徒の健全育成のために、休み期間中の見守り活動にご協力をお願いします。

今回の学校閉庁期間は、8月10日(月)～14日(金)です。学校閉庁期間や休日・祝日等に緊急の連絡がある場合は、**厚岸町教育委員会(52-3131)**に連絡をお願いいたします。

その際は、①学校名、②氏名、③生徒氏名と学年、④用件、⑤連絡先を伝えてください。その後、必要に応じてこちらから折り返し連絡をさせていただきます。ただし、時間帯等によっては、すぐに折り返しできないこともありますのでご了承ください。

右のような相談窓口もあります。北海道教育委員会のホームページに掲載されていますのでご紹介しておきます。